

やさしい中学公民 2-1 チェック問題 氏名

(1) 社会の中で、おたがいの意見や主張がぶつかることを対立という。対立がおきたとき、おたがいに納得する解決手段をつくり、その手段を実行することを〔① 〕という。そのためには「時間やものをムダなく使うやり方を選ぼうとする考え方」である〔② 〕や、「個人を尊重し、不平等がないようにする考え方」である〔③ 〕が必要である。

(1)①

(1)②

(1)③

やさしい中学公民 2-2 チェック問題 氏名

(1) 対立を未然に防ぐため、素早い解決につなげるために、きまり(ルール)が必要である。きまり(ルール)をつくる時は、「そのきまりにより保護される利益」である〔① 〕、「しなければならないこと」である〔② 〕を明確にする必要がある。特に「そのきまりを破った場合にしなければならないこと」である〔③ 〕も大切である。

(1)①

(1)②

(1)③